明るく　仲よく　たくましく　～「心のふるさと」となる　あ・な・た　を大切にする学校～
日仏文化学院パリ日本人学校　平成２６年度　学校だより　第５号

L'arc-en-ciel entre la France et le Japon

平成２６年7月２４日（木）発行　　［文責：河部］

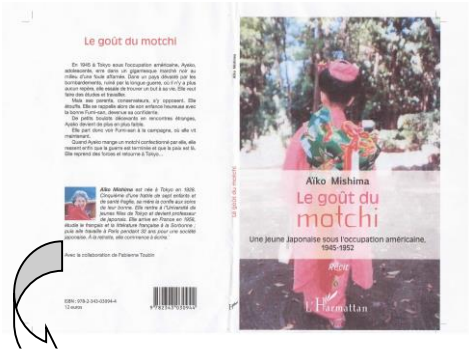
小学部５・６年生の体験学習

７月１日（火）～４日（金）、フランス東部にある人造湖のほとり、ジフォモンという所での小学部５・６年生の体験学習を行いました。昨年度は中学部最高学年の修学旅行の引率をしましたが、本年度は小学部最高学年を含む体験学習に同行することができました。昨年度もそうでしたが、３泊４日の長期宿泊行事で寝食を共にすることによって、普段の学校生活では見えない子どもたちの一面を垣間見ることができ、私自身にとってもとてもよい機会でした。４日間の中で、２人乗りカヤックや、１人乗りオプティミスト（５年生のみ）、２人乗りカタマラン（６年生のみ）といったヨットなど、水上での活動体験を中心に行いました。ほとんどの５年生や転入生が初めての経験だったと思いますが、それぞれ半日の活動時間の中で、めきめき上達していくのがよく分かりました。私は監視のために直接体験はできませんでしたが、帆で風を受けながら進行方向を操作するヨット（オプティミストやカタマラン）はさぞ難しいだろうと感じましたが、子どもたちはさすがです。本体験学習を通した子どもたちの取組の姿勢に対して、施設のアニマトゥーのみなさんが口をそろえて、「日本人学校の子どもたちはルールを守り、とても熱心に活動に取り組むことができ、大変感心しました。」と言ってくださいました。復路の到着時刻が遅れ保護者の皆様には大変ご心配をおかけしましたが、経費面で多くのご負担をいただきながら本当に有意義な行事を実施させていただいたことに感謝いたします。ご理解とご協力、本当にありがとうございました。

学習発表会とパリ日本人学校まつりについて

１学期の大きな行事である運動会に続き、２学期には「学習発表会」と「パリ日本人学校まつり」が行われます。昨年度１２月２日発行の学校だより第９号で、本年度の学習発表会とパリ日本人学校まつりについて、以下のようにお知らせしました。　～「学習発表会」において、小・中両学部のすべての発表を行うという点です。このことによって、中学部の練習期間は「学習発表会」までで終了となり、それ以降の授業に支障をきたすという形にはなりません。この変更の大きな理由は、中学部の発表についても、「学習発表会」という雰囲気の中で発表させたいということにあります。併せて、次年度の授業時数のさらなる充実へ向けての取組の一つと位置付けています。～　主旨は、中学部の生徒の発表も小学部の児童の発表と同様に、「学習発表会」という場で発表させるとともに、その姿を保護者ならびにご家族の皆様にご覧いただきたいという思いです。ただ、中学部の発表にかける時間とともにお化け屋敷のための時間を重ねて設定することは非常に難しいことになります。そのような理由から、本年度はパリ日本人学校まつりでの「お化け屋敷」や「中３のバンド」「中学部合唱」の活動は行わず、学習発表会での中学部としての発表の場に集約することとしました。「お化け屋敷」については、とても怖い内容が工夫されていて人気も高かったのですが、本年度は、小学部同様、自分たちの発表を見てもらうという部分に時間とエネルギーを注いでほしいと思います。そして、パリ日本人学校まつりでは、自分たちもしっかりと楽しむとともに、様々なお手伝いでの活動という形で貢献してくれたらと願っています。

ファビエンヌ先生の翻訳図書



Avec la collaboration de Fabienne Toubin

本校のフランス語講師であるファビエンヌ先生が、Aïko Mishima 氏の 「Le goût du motchi」という本の翻訳に携わり、今回、「L'Harmattan」社から発行されました。以下、本人による本のあらすじを紹介します。

1945 年、17 歳のアヤ子は空腹を抱えた群衆に混じって闇市を歩いている。日本はアメリカの空爆と長年の戦争ですっかり破壊された。アヤ子は平和で幸福だった幼い頃を思い出す。子沢山の家庭でアヤ子の世話はお手伝いのふみさんに任されており、何でも打ち明ける仲だった。その生活にも次第に戦争の影が忍び寄ってくる。アメリカ占領下の混沌とした社会にあってアヤ子は理想を求めるが、大学進学も就職も保守的な両親の反対で実現せず、心身ともに疲れ果てる。ある日帰郷したふみさんに会いに行き、手製のお餅をごちそうになる。その時初めて平和が来た実感をもち、感動する。日本は次第に復興し始めるが、アヤ子は相変わらず両親のもとで服従を強いられ、反抗的になっていく。

概要だけですが、ファビエンヌ先生はこのような活動を通して、日本の歴史についても精通していると思います。そんなファビエンヌ先生ですから、日本人の気持ちを考えながらのフランス語指導をしてもらっていることと思います。

有意義な夏休みを！

本日の終業式をもって、１学期の全課程を終えました。日本人学校の宿命で、１学期をもって日本国内や外国の学校へ転出する児童・生徒が２０名程度います。本校での思い出を胸に、新たな環境でさらに飛躍してくれることを願っています。同時に、２学期からは新たな児童・生徒を迎えますので、新たな関係を上手に築いていってほしいと思います。夏休みは、２学期へ向けての大切な充電期間です。各ご家庭での様々な経験を経て、パワーアップした子どもたちと再会するのを楽しみにしています。また、中学部３年生にとっては受験へ向けた最後の大切な追い込み時期ともいえます。強い意思をもって、それぞれの目標に向かって突き進んでほしいと思います。なお、中学部では、すでにお知らせしていますように、８月２５日（月）からの１週間を利用して、「夏休み学習教室」を実施します。

９ 月 の 行 事 予 定 表

１(月)	始業式	１６(火)	
２(火)	委員会（小）　一斉下校指導	１７(水)	社会見学（小３：ロダン美術館）
３(水)	実力テスト（中）	１８(木)	卒論発表会（中３）
４(木)		１９(金)	
５(金)	秋の遠足（小）　学部親睦会（中）	２０(土)	（文化教養学園運動会）
６(土)		２１(日)	
７(日)		２２(月)	生徒会後期選挙（中）
８(月)	学部別朝会	２３	クラブ（小）

		(火)	
９(火)	読み聞かせ（図書ボランティア）クラブ（小）	２４ (水)	
１０(水)		２５ (木)	読み聞かせ（図書ボランティア）
１１(木)		２６ (金)	
１２(金)	遠足予備日	２７ (土)	
１３(土)		２８ (日)	駿台模試
１４(日)		２９ (月)	
１５(月)		３０ (火)	